

これを記している7月下旬には東京五輪（7月23日開幕）が行われており、8月24日からはパラリンピックも開催されます。「史上初」という言葉を何度も目にするこの大会ですが、アスリートの活躍には目を見張るものがあります。休日には、気付けばテレビの前に釘付けの日々を送っていますが、生徒の皆さんは、この夏をどのように過ごしていますか。

6月から7月にかけて、日本国内のみならず、ドイツや中国等での豪雨災害が連日のようにニュースで流れていました。スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんや多くの科学者が警鐘を鳴らしているように、今すぐにも地球温暖化にストップをかける必要性を改めて強く感じるこの頃です。

いくつかの大学の研究チームが、このまま地球温暖化が進むと、日本では1960年生まれの世代（現在62歳）が一生に一度も経験しないほど暑い日を、現在2歳あたりの子どもたちは生涯で400回も経験すると予測した、と新聞で報じていました。大雨の頻度も然りです。ただしこの報告では、温暖化対策が適切に進んで気温上昇が押さえられた場合、酷暑も豪雨もその回数は減じられるとも述べられていました。

環境問題や人権問題といった諸課題を、誰一人取り残さずに、世界のみんなで解決していくという取組が、皆さんも聞いたことがある「SDGs」（持続可能な開発目標）です。2015年に国連総会で採択され、2030年を区切りに目標が設定されましたが、残念ながら採択後6年が経過した今、当初の計画通りには進んでいないのが現実のように思われます。若くして活動を始められたグレタさんの例を引くまでもなく、きっと私たち一人一人にも、何か今できることがあるはずです。

まず、自分は今どんなことができるのだろうか、と考えることが最初の一步。そして、その一步を踏み出すときには、正確な情報を手に入れ、いろいろな意見を吟味して、自分自身で考え判断し、その判断をもとに自ら行動することが、これからの私たちに求められる力だと皆さんに伝えてきました。もしその逆に、不確かな情報を頼りに自分の都合のみを優先し、他者が決定した判断をもとに、その行動全てを委ねてしまえば、悩みや苦労は少なくとも楽ですが、決しておすすめできません。リモートでの終業式でも引用した相田みつをさんの詩にあるとおり、「いま、ここ、の具体的な一步」を自身の足で積み重ねていくことが、とても大切だと思います。

連日、猛暑を乗り越えて酷暑の日々。本当に暑い日が続いています。熱中症には十二分に注意を、そして、コロナ感染対策も気を緩めることなく、この夏を有意義に過ごしていきましょう。